

紙加工品製造業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
7	19~20	被災者（技術社員・試用期間中）が残業中、チューバー機の糊洗いに行く際、通路の配線覆いにつまずき転倒。左膝を強打したことにより、左大腿骨顆部を骨折、左膝内側半月板を断裂および右手関節を捻挫した。	34	30~49
7	12~13	昼休憩後の午後からの作業をするために、自分の配置場所に向かおうとしていたところ、工場内原紙搬入口に原紙を積んだ状態のパレットの角に足が引っ掛かってしまい転倒、左ひざ部分を骨折したもの。	62	10~29
7	17~18	工場内の機械設備（118B）横の通路に一時的に台車等を置いたままの状態になっていたため、十分なスペースが確保されていなかった。従って、この隙間を通り抜ける際に右足が何かに引っかかり、バランスを崩して左側面から倒れ、腰付近を強打した。その後、痛みが和らいできたのでしばらく様子を見ていたが、骨折が判明し、即会社へ報告した。通常、台車は指定された場所に置いてあるが、当日は中間決算棚卸の在庫確認のため、一時的に上記記載の通路に移動させていた故に通路に必要なスペースが確保されていなかった。	42	30~49
9	15~16	派遣社員は、当社B棟プレス棟の投入口において碑も切の済んだ新聞をドライワイパー（床用水切り）を使用してコンベアに入れる作業を行っていた。作業中、足元の紙で滑って左足をひねり、しりもちをつき転倒した。後日、骨折が判明し、手術を受ける。	66	30~49
10	9~10	工場から出来あがってきた段ボールケースがパレットに積まれて流れて来る場所で、フォークリフト担当者が出荷に必要な製品を取ろうと、ローラー上のパレットを手で押していた時、足元のストッパーに気が付かず、両足がストッパーに引っ掛	51	50~99

かり前のめりになり、床に両手をついて転倒してしまった。

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)